

その道に詳しい人に聞く



◀今月の“詳しい人”

伊藤 仁 (52)

Gallery p.prince collection代表
設立10周年を迎えた星の
王子さまファンクラブ会長。
また、教育評論家としての
顔も併せ持つ。

まずは、この本を読め!!

category_ 愛読者に聞く、訳別『星の王子さま』BEST3

BEST 1

星の王子さま

アントワヌ・ド・サン＝テグジュペリ 著／内藤濯 訳／岩波書店

砂漠に不時着したパイロットの前に現れた、不思議な男の子。彼は遠い星からやってきた王子さまだった。共に語り、絆を創った二人は大切な時間を過ごす。しかし、やがて別れのときが…。



「長く愛される
定番の名訳」

広く読者に愛され、62年もの間読み継がれている内藤濯の『星の王子さま』は、疑いもなく名訳です。私は大人になってから『星の王子さま』を初めて読みましたが、一つ一つの話が比喩的に表現され、奥にある事柄を想像させる文章に強く感銘を受けました。

特に「王子さまは、それきり、なにもいへませんでした。そして、にわかになつて泣きだしてしまいました。」という部分が印象的で、泣き出した王子さまをパイロットがぎゅっと抱きしめる姿は、相手を思いやる優しさに溢れた、心に響く感動の名シーンです。

飛行機のエンジンをモーターと訳すなど、内藤濯はしばしば誤訳を指摘されています。しかし、読み手の解釈一つで意味は変化しますし、じっくりと読み込むことで、文学的で深みのある訳を肌で感じることが出来ます。

BEST 3

新訳 星の王子さま 単行本

アントワヌ・ド・サン＝テグジュペリ 著
小島俊明 訳／中央公論新社

これまでで最も愛らしく、毅然とした王子さま、世界中の子どもと大人に愛される名作がカラー挿絵とともに甦る。原作の素顔を伝える新訳で送る一冊。



「飛び出す絵本と
新訳のコラボ」

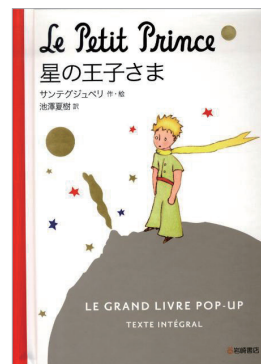
飛び出す絵本に池澤夏樹による訳の全文が収録されている作品。ページをめくると仕掛けが繊細かつ巧みに動き出すので、子どもから大人まで楽しめる魅力が満載です。特に3本のバオバブの木がダイナミックに飛び出すシーンは必見。星を破裂させる恐ろしい木として登場するバオバブの木には、小さな悪を放っておくと、いずれ恐ろしいことが起きるといふ暗喩が込められています。内藤濯が「ウバミ」と訳した大蛇を、「ボア」と表現する池澤訳からは、一つの言葉に対する強いこだわりを感じることが出来ます。

BEST 2

星の王子さま ポップアップ絵本

アントワヌ・ド・サン＝テグジュペリ 著
池澤夏樹 訳／岩崎書店

読んで、絵を見て、仕掛けも楽しめる魅力満載のポップアップ絵本。池澤夏樹による美しい現代日本語訳と、色鮮やかな仕掛けが一つになって生まれた一冊。



「素直な訳と
センスが光る装丁」

小島俊明版は、誤訳が少ない素直な訳に好感が持てます。キツネが王子さまと交わす会話の中に「apprivoiser」[reder des liens]という多くの訳者が翻訳に苦しむ重要なキーワードが出てきます。この言葉を小島俊明は、それぞれ「飼いならず」「絆を作る」と原書に忠実な訳を使用し、「深めるような絆を作る」という表現を作り上げることに成功しています。

新訳はそれぞれに特徴があり、一概に順位をつけることは難しいため、「自身のお気に入りの『星の王子さま』」を探してみてください。